

科 目 名	現代社会論<各論> 「消費生活と手仕事」	担当教員	加 藤 次 郎		
		担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位 数 授業形態	4 单位 (総論とあわせて)	演習	開講時期 通年

講義概要

■到達目標

- ・人ととの間のかかわりが「お金」になっていることに気づき意見がもてる。
- ・人と人の間を本当につなぐものは「こころ」であることを発見する力をもち表現できる。
- ・本来あるべき人と人とのかかわりの再構築に向けて自分から一步を踏み出す（実行する）。

■授業の概要

人間の生活の基本は「衣・食・住」です。その昔「織姫」は、「棚機（たなばた）」と呼ばれる織り機を使って「衣」を自ら織っていました。「牽牛」は牛を牽き畑を耕し「食」を作り出していました。これが「七夕」の起源です。

時をへだて、私たち現代人は気が付けば、衣も食も自分の手で作り出す能力を失くしかけっています。何よりも「お金」で消費する生活になってしまったからです。

そこで、私たちは自分の手で作り出す楽しみと喜びを再発見し、人ととの関係の再構築の必要性に気づき「生活者」として生きていくことを学びます。

■授業計画

- 第1回 学生が考える現代社会の問題①
- 第2回 学生が考える現代社会の問題②
- 第3回 学生が考える現代社会の問題③
- 第4回 グループディスカッション
- 第5回 今、私たちが暮らしている社会とは
- 第6回 大量生産・大量消費社会のもたらすもの
- 第7回 グローバリズムとローカリズム
- 第8回 スーパーマーケットと地産地生
- 第9回 中間発表にむけて
- 第10回 フィールドワーク①の事前学習
- 第11回 フィールドワーク①
- 第12回 フィールドワーク①の振り返り
- 第13回 フィールドワーク②の事前学習
- 第14回 フィールドワーク②
- 第15回 フィールドワーク②の振り返り
- 第16回 フィールドワーク③の事前学習
- 第17回 フィールドワーク③
- 第18回 フィールドワーク③の振り返り
- 第19回 今、私たちにできること①
- 第20回 今、私たちにできること②
- 第21回 総論における報告にむけて

■準備学習

- ・授業のテーマに照らして社会全体を見つめ直し自分の日常生活を振り返る。
- ・今、自分にが出来るかを考え、ちいさな一步を踏み出す。

■評価方法

- ・授業へ向かう態度（フィールドワークや討議での積極的な取り組み、発言内容等） — 50%
- ・試験及びレポート — 50%

参考文献	「ヒトに問う」双葉社	特記事項	フィールドワークの交通費の自己負担があります。
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	幼 保	教養科目